

チャリティ・革命到来！

日本初のチャリティ・プロジェクト  
「JustGiving」とは？

**JustGiving Japan™**

——— あなた発のチャリティ・プロジェクト。 ———

一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン  
港区南青山3-8-37 第2宮忠ビル3F  
03-5770-3151

## 次は、ゴルフで社会貢献 「Golf For Charity」企画 スタート！ ～スローガンは、「その一打を、誰かのために。」に決定～

一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン(本部:東京都港区、代表:湯本 優)は、好評いただいております、走ることで社会貢献である「Run for Charity」に続く第2弾の企画として、ゴルフを通じた社会貢献活動「Golf for Charity」を実施いたします。

ゴルフが好きな人、ゴルフを始めようと思っている人、それぞれが自分なりの思いを持って社会貢献活動を行うことができます。この取り組みには、プロゴルファーの丸山 茂樹さんもご賛同いただくことになっています。

### 【企画概要】

この企画は、ゴルフを通じた社会貢献活動です。ゴルフを新しく始める人から、ゴルフコンペ、ちょっとした練習など、それぞれにおいて、自分なりの目標を持ったうえで、その目標に向かってのチャレンジャーになることで、寄付金を集める仕組みです。

寄付先は、弊団体が決めたNPOの中から選んで寄付することもでき、チャレンジャー自信が登録以外のNPOから選定することもできます。これまで弊団体が行っていた、「Run for Charity」と寄付の体系や手法等は同じになっております。

※詳細は、本誌のP2以降をご覧ください。

### 【スローガンに込めた想い】

「Golf for Charity」のスローガンは、「その一打を、誰かのために。」です。この言葉には、「1打」を打つたびに、寄付先の方々や、自分を応援してくれている人達のことを思い出して打ってほしいという願いをこめました。

### 【著名人賛同者】

今回の「Golf for Charity」では、プロゴルファーの丸山茂樹さんにご賛同いただきます。丸山さんは、最初のチャレンジとして「皆様に感動してもらえるプレーをする」に挑戦し、そのために集める寄付を、「一般財団法人丸山茂樹ジュニアファンデーション」へ寄付をすることになります。

本活動については、「Golf for Charity」のWebサイト(<http://gfc.justgiving.jp/>)にて、詳細をご覧ください。



丸山茂樹

問い合わせ先 : 「Golf for Charity」取材対応事務局  
NPO法人 チャリティ・プラット・フォーム内 担当:鈴木 / 電話:03-5770-3151

## News 1 . 元プロ野球選手 古田敦也さんが、「ホノルルトライアスロン 完走」への挑戦を通して、45万円の寄付金額を集めて目標達成！



ハワイのホノルルで行われたトライアスロン大会(現地時間の5月16日)に、元プロ野球選手の古田敦也さんが出場し、見事2時間53分で完走しました。

古田さんは、Run for Charityを通じて、「侍学園 スクオーラ・今人」への支援を行うためにトライアスロンをはじめ、3ヶ月の練習を経て、今回の出場にいたりしました。

今後も、Run for Charityの活動を通じて社会貢献活動を行っていく予定です。

※ 古田さんのインタビュー映像をご希望の方は、事務局までお問い合わせください、

## News 2 . 寄付金額 470万円、寄付人数1,560人、チャレンジ参加者310人突破

6月30日現在、寄付総額は470万円を突破。  
最初の1ヶ月では25万円を集めており、これは、本家イギリスのJustGivingを超えるペースです。

また、寄付した人の人数は延べ1,560人、さらにチャレンジャーになり団体の支援を表明している人は310人に上ります。

著名人だけではなく、一般の方々にも、この活動が受け入れられ始めました。

## News 3 . 著名人チャレンジャーの参加が決定



有森裕子



SHIHO

有森裕子さんや、SHIHOさんなど、多くの著名人の皆さんが、本活動に参加を表明しています。

今後も、多数の著名人参加を予定しております。

# ■ What is JustGiving ?

## ～ 「JustGiving」 企画趣旨 ～

「JustGiving」とは、誰でも自分なりのチャリティ・プロジェクトを立ち上げることができ、多くの人々が気軽に寄付に参加できる活動です。

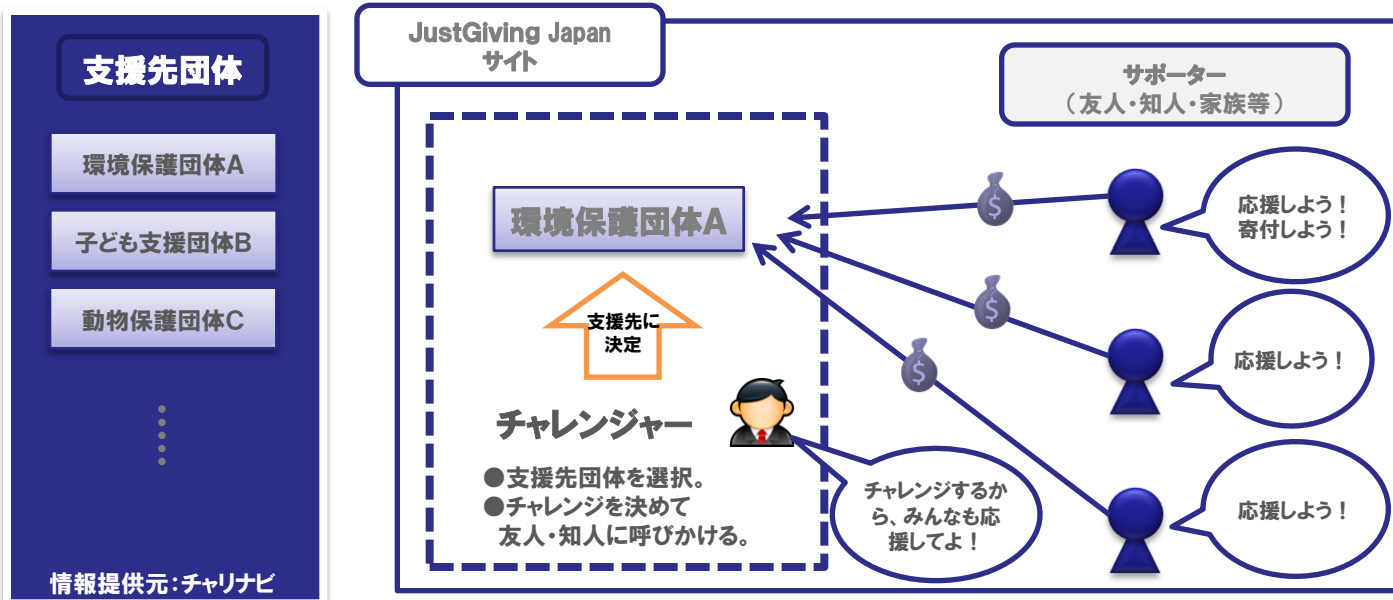
この活動は、2001年にイギリスで作られたソーシャル寄付サイト JustGiving※(P7参照)の仕組みを使った、日本では初めての企画です。

また、この活動の中で、“走ることを通してのチャリティ・プロジェクト”として「Run for Charity」というプロジェクトも行っております。

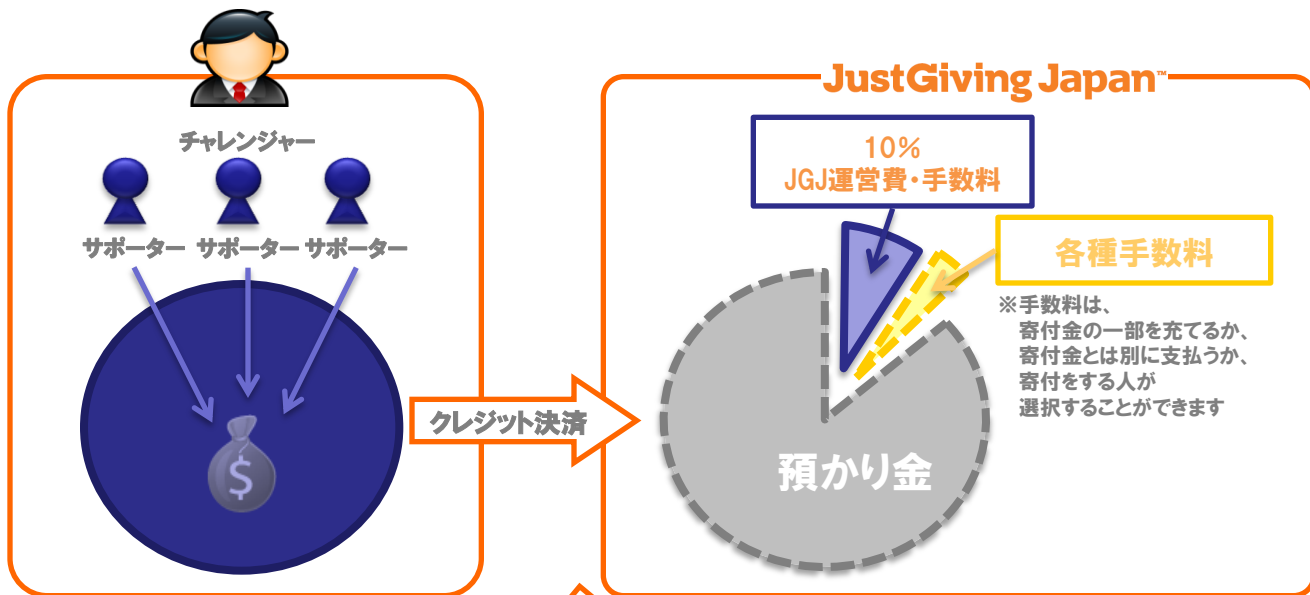
弊団体では、日本国内にある様々な社会問題に対して、国民一人ひとりが、それぞれの思いで向かい合い、自分なりの方法で、自分らしくその解決に一役買うということを目指し、2010年3月9日より、日本でこの企画を立ち上げました。

## ～ 「JustGiving」 の仕組み ～

- ①チャレンジャーは自分の支援する団体にお金を集めるために、何かにチャレンジします。
- ②サポーターは、そのチャレンジを応援する気持ちで寄付をします。
- ③集められた寄付は、JustGiving Japanを通じて支援先の団体に届けられます。(※)
- ④支援先団体はチャリナビを通じてチャレンジャー・サポーターに活動報告をします。



## ～ 寄付金の流れ～



チャレンジャーやサポーターからの寄付は、直接ジャスト・ギビング・ジャパンに振り込まれます。

**環境保護団体A**

寄付へ

振り込まれた寄付金は、各種手数料が差し引かれ(差し引かず別途支払うこともできます)、その他に、10%をJustGiving Japanの運営費・手数料として頂戴し、残りを預かり金として別口座に保管いたします。

その後、保管された預かり金は、各支援先団体へと振り込まれます。

JustGiving Japanは、いただいた10%のうち、1%を英国のJustGivingとの提携におけるライセンス費として支払い、残りの9%をシステム運営費、非営利団体のリサーチ費、事務局運営費として使用させていただきます。



ジャスト・ギビング・ジャパンを通じて寄付を受け取った団体は、いただいた寄付金を活動資金として、社会問題のために使用します。

## 1,000円寄付したらどうなる？

各種手数料を含めた場合： 請求金額1,000円(支援先団体への寄付=850円、各種手数料=150円)  
 各種手数料を含めない場合： 請求金額1,174円(支援先団体への寄付=1,000円、各種手数料=174円)

# What is JustGiving ?

## ～ Webサイトの紹介～

### サイトトップ



集めたい寄付の  
目標金額と、  
現在の進捗状況

### チャレンジャーページ

→ 目標金額 300,000円    このチャレンジの目標達成率

☎ 現在の寄付金額 158,062円    53%

¥ 現在寄付した人数 28人

#### マラソン・トライアスロン完走

挑戦もバイクの疲れもほとんどありませんが、今は必死になって練習しています。自分のチャレンジが多くの若者の生きる糧になると信じて頑張ります。  
【古田敬也プロジェクト】

PHOTO:Shunmi Takai

このチャレンジをみんなに紹介する

このチャレンジをFacebook, Twitterで紹介して、みんなで応援しよう！

📄 詳細ページはこちら  
📄 支援コメントはこちら

寄付者	金額
Y kashiroさん	10,000円
Y kashiroさん	2,700円
Y sakuraiさん	10,000円
Y tommyさん	10,000円
Y gonyoさん	1,000円

このチャレンジに寄付する

「チャレンジ内容」や  
「この団体を支援する理由」  
を記載します。

※チャレンジ内容は、寄付そのものに関わりがなくてもかまいません。ダイエットをする、禁煙をする、フルマラソンを完走するなど、ご自身にあったチャレンジをすることができます。

寄付した人からの  
応援コメント一覧

応援コメント入力、寄付  
決済ボタン

# What is Run for Charity ?

## ～ 今後の行方 ～

これまで、走ることでの社会貢献を謳っている「Run for Charity」。続々と、地方のマラソン大会との協働が決まっています。

もともと、「Run for Charity」の母体であるJustGivingは、イギリスのロンドンマラソンで多くの方々に支持された取り組み、日本でも全国でのマラソン大会のチャリティ活動普及に取り組んでいます。

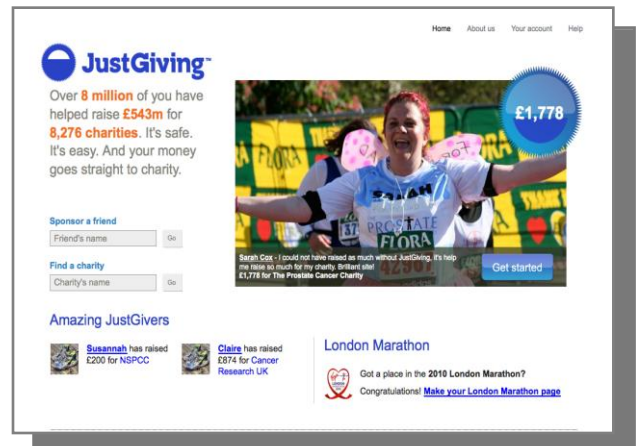
ただ走るだけでなく、少しでも社会のためになる活動を行い、サポーターたちの想いととも走ることを多くの皆さんに体験していただく予定です。

## 【JustGivingについて】

JustGivingとは、2001年にイギリスで作られたソーシャル寄付サイト。現在までに1000万人が利用、約5.4億ポンド（825億円）が寄付されている。ロンドンマラソンの公式プログラムとしても採用され、世界で最も成功している寄付サイトの一つである。

その最大の特徴は、誰もがチャリティ・プロジェクトを立ち上げることができ、そして多くの人々が気軽に寄付に参加できる仕組みであるということ。「寄付したい」人（＝チャレンジャー）と、「その気持ちを応援する」大勢の人たち（＝サポーター）がいつでも、どこでもチャリティ・プロジェクトに参加できる仕掛けになっている。

その取り組みが、2010年3月9日から、「Run for Charity」という形で、いよいよ日本でも始まった。



## 安心して寄付ができる仕組みです

サイト上で支援先として選択できる団体は、団体情報提供と団体審査の業務を委託している特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォームが運営する「チャリナビ」に掲載されている団体が対象となります。

これらの団体は、チャリティ・プラットフォームの審査機関によって審査され、基準を満たしていると判断された団体です。

### ～審査概要～

審査対象となるのは、次の①②どちらかの条件を満たすものであること。

- ①財団、社団、NPOなど非営利の法人格を有すること
- ②非営利を掲げる定款を有し、ウェブ上で会計報告、および役員名簿を公開できること（設立初年度は会計報告不要）

審査要件を満たした団体は、特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォームが別途設けている審査基準によって、JustGiving Japanの支援先団体としてふさわしいかどうかを判断されます。

## JustGiving Japan™

あなた発のチャリティ・プロジェクト。



支援可能NPO一覧 : <http://justgiving.jp/npo/>





古田敦也

▼プロフィール

元プロ野球選手。

現役を引退後、現在はスポーツ解説者として活躍。

2010年5月 ホノルルトライアスロンに挑戦。

▼支援団体

「侍学園 スクオーラ・今人」



有森裕子

▼プロフィール

バルセロナオリンピック、アトランタオリンピックの女子マラソンでは銀メダル、銅メダルを獲得。

1998年NPO「ハート・オブ・ゴールド」設立、代表就任。

現在、国際陸連(IAAF)女性委員会委員、国連人口基金親善大使、認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本 理事長、他。

▼支援団体

NPO「ハート・オブ・ゴールド」



SHIHO

▼プロフィール

17歳でモデルデビューし、数々のCM 出演や女性誌の表紙を飾り、若い女性のファッションリーダーに。花王「ビオレ」の広告、アディダスのスポーツミューズとしても活躍中。

▼支援団体

「green bird」



藤井秀悟

▼プロフィール

2000年、ドラフト2位でヤクルトスワローズへ。翌2001年にはセ・リーグ最多勝投手、最優秀投手、ベストナインそしてチームのリーグ優勝に大きく貢献した。現在は、03年春の左ひじの手術から復帰。2008年北海道日本ハムファイターズにトレード。2009年オフにFA宣言をして読売巨人軍に移籍。3年ぶりのセ・リーグのマウンドに上る。★最多勝(2001年)★最優秀投手(2001年)

★ベストナイン賞(2001年)★W杯日本代表(2001年)▼支援団体

「犬と猫のためのライフポート」



新妻聖子

▼プロフィール

「レ・ミゼラブル」で女優デビュー後、「ミス・サイゴン」等の大作で

次々とヒロイン役を射止め、「ミュージカル界のシンデレラガール」と話題に。

2006年には菊田一夫演劇賞、文化庁芸術祭演劇部門新人賞をダブル受賞。

▼支援団体

「犬と猫のためのライフポート」



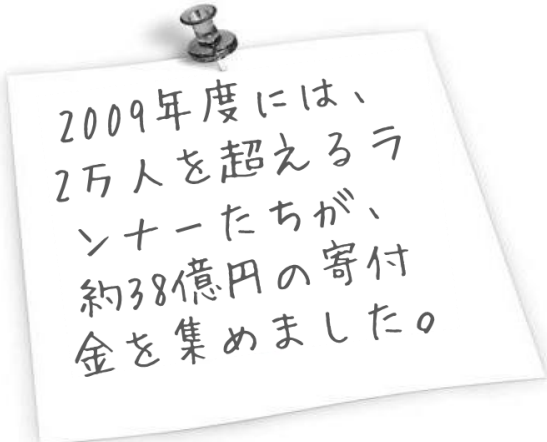
## 2009年度の実績

- 35,000人のランナーのうち、20,999名\*(前年度比+17%)がJustGivingを通じてファンドレイズを行った
- 支援を受けた非営利団体は1,693団体(前年度費+19%)
- JustGivingを通じて集まった寄付金は£ 24m\*\*(約38億円\*\*\*)
- 寄付の件数は656,350件

\*作成されたマイページ数で計算

\*\*政府からマッチングされるGift Aidを含む

\*\*\*£ 1 = 160円として計算



2009年度には、  
2万人を超えるラ  
ンナーたちが、  
約38億円の寄付  
金を集めました。

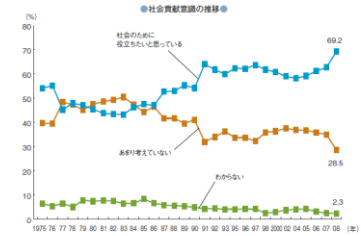
## 日本の寄付事情

### ■社会貢献活動への関心は増加中。

社会貢献活動への関心は、総じて増加傾向。共同募金調査会によると、関東地域での寄付行動が、他地域に比べて多い。

特に近年、若者の社会貢献意識が高くなっているとも言われているが、その理由には、「バブル後の90年代前半に小学校などの教育現場で、社会貢献や環境保全などについて教える時間や機会が増加した」、「終身雇用や企業への滅私奉公的なライフスタイルへのアンチテーゼとして、社会的な活動への関心が高まった」、「欧米諸国において社会貢献活動がファッションになった」等がある。

第1-2-1図 社会のために役立ちたいと思っている人が7割近く存在する



(備考) 1. 内閣府(社会貢献に関する意識調査)による。2. 「あなたも、社会の一員として、社会のために役立ちたいと思いませんか、それとも、あまり興味はありませんか」という質問項目。回答者の割合。3. 回答者は、全国の大規模な調査。

### ■海外協力への寄付が、分かりやすさから支持される傾向。

国内NPOと海外NPOで比較すると、寄付・会費の割合は海外協力NGOへの寄付が非常に高くなっている(国内団体であれば1~2割程度だが、海外協力は5~6割程度)。海外協力への寄付の方が、より寄付者にとって分かりやすいということではないか。

### ■日本での寄付行動定着には、“インフラ整備”が不可避

かつて堺の街の橋は全て商人の寄付によって成り立っていたように、寄付行動は日本においても根付いていた。他方で、明治維新以降の中央政府統制型の政策や行政主導の成長政策の過程のなかで、寄付先としてのNPOの存在感が薄かった面がある。

例えば、他の主要先進国と比較した場合、寄付行動を支えるインフラが日本の場合はあまりにも未整備である点が、大きな課題とも言える。

「寄付税制の不足」「税控除を受けられる団体自体の不足」「寄付市場を可視化するメカニズム」「きっかけを提供するメカニズムの不足」「子どもの寄付者教育の不足」「NPO自身のファンドレイジング力の不足」がその主な理由。

こうした課題点を他国並みにすることで、実際に寄付行動をライフスタイルの中に組み込む人たちが増加し、社会を取り巻く空気が変化して日本でも寄付行動が定着する可能性は十分にある。

### ■「新しい公共」と“寄付税制の改善”などで、寄付文化は定着は間近？

今後の目玉としては、「新しい公共」と寄付税制の改善がある。

税額控除50%、認定NPOの要件緩和と仮認定制度導入、みなし寄付金制度の導入などは大きな変化の兆しである。

※今年末の税制改正大綱での取り扱い次第となる。

他にも「信託協会が寄付型信託開発を検討開始」などの動きも。今年4月の年度当初の会見で、信託銀行の連合体である信託協会の会長が、寄付型信託の開発を2010年度の主要テーマとして掲げており、アメリカで12兆円の残高を持ち、数兆円の寄付創出効果のある寄付型信託について、日本でも検討がスタートしはじめている。

さらに、新しい寄付手法として、「Justgiving」に代表される新しいタイプの寄付手法が登場。その他、「Table for Two」もその一例として期待されている。

## フィル・パッカー



現在JUST GIVING上で、  
Help for Heroes のた  
めに120万9800ポンド  
(約1億9300万円)を  
集めている。

イラクで負傷した英国人兵士が4月26日のロンドン・マラソンに出場し、レース開始から約2週間後の8日、ゴール地点に到着した。

フィル・パッカー(Phil Packer)少佐(36)は、2008年2月にイラク南部バスラでロケット弾の攻撃を受けて両足が不自由になり、二度と歩けないだろうと言われていた。だがパッカー少佐は、松葉杖をついて毎日約3キロずつ歩いてゴール地点に到着。少佐を応援する数百人の人々が見守る中、見事に完走した。

このマラソンに参加することで、負傷した兵士を支援する慈善団体Help For Heroesのために63万ポンド(約9400万円)の募金を集めたパッカー少佐は、100万ポンド(約1億4000万円)の目標達成を目指したいと語っている。

「全部で5万2400歩だったが、マラソン参加中はいつも誰かが一緒に歩いてくれたんだ。それは学校給食係の女性やタクシーの運転手、ロンドン警視庁の警官など、さまざまな人だった」とパッカー少佐は振り返る。「大勢の人たちと話したが、どの人も従軍する兵士について思っていることを正直に話してくれた。とてもありがたくて、申し訳ないくらいの気持ちになったよ」

## チャーリー・シンプソン



現在JUST GIVING上で、  
ハイチ被災者のために  
20万ポンド(約2880万  
円)を集めている。

ハイチ大地震の被災者を救おうと、英国の7歳の少年がロンドン市内をサイクリングして募金を訴えたところ、

共感した市民から義援金が殺到。

世界中で話題となっている。

被災地の映像に驚いたチャーリー君は、資金集めのためロンドンの公園を自転車で周回することを計画。母親がJustGivingに登録。ウェブサイト上に「ハイチのみんなのために、食料や水、テントを買うお金を集めたい」と記し、約8キロのサイクリングで協力を訴えた。当初の目標額は500ポンド(約7万2000円)だったが、英紙がチャーリー君の行動を取り上げ、義援金が一気に集まった。

ブラウン首相はツイッターに「7歳の子の資金集めの取り組みへの反応に驚いた」と書き込んだ。チャーリー君の母親は「急な金額の伸びで信じられない」と話しているという。



**代表理事  
湯本 優**

プロアスリートであり医師免許も持つ。  
マウンテンバイク、XTERRAの日本代表選手を経て、  
現在はアスリートとして活躍しながらスポーツを通じた健康的なライフスタイルの普及に尽力。  
順天堂大学医学部卒業。順天堂大学医学部博士課程在籍中。



**業務執行理事  
佐藤 大吾**

一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン業務執行理事  
NPO法人チャリティ・プラットフォーム代表理事  
NPO法人ドットジェイピー理事長  
内閣府政策調査委員（非常勤国家公務員）  
早稲田大学客員研究員



**事務局長  
梶川 拓也**

リクルート、ソニー、上場ベンチャー経営者を経て現職。  
JustGivingでは経営全般を担当。  
経営マネジメントと事業開発に強みを発揮。  
大阪大学経済学部卒。



**チャレンジャー代表  
古田 敦也**

90年、ヤクルトスワローズへドラフト2位で入団。打者としては、プロ入り2年目に、首位打者を獲得し、捕手としては、強肩と頭脳を生かした野球で、攻守ともにチームを牽引。又98年には、日本プロ野球選手会会長へ就任し、球界の向上に貢献する。

特に、04年の球界再編問題に対するストライキの決行は、球界史上初めての出来事として、多くの人々の記憶に残っている。

06年には、プロ野球史上29年ぶりとなる選手兼任監督へ就任。07年、現役引退と同時に、監督も退任。

JustGivingのチャレンジャーリーダーとして今後もチャレンジを続ける予定。

**名称** **一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン**  
 (英語名称: JustGiving Japan Foundation)  
**事務所** 東京都港区南青山3-8-38第2宮忠ビル  
 特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム内  
**電話番号** 03-5770-3151  
**FAX** 03-5770-0531  
**設立** 2010年2月19日  
**設立者** 特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム  
**事業年度** 毎年2月1日より1月31日まで

**評議員(就任順)** **渋谷 健** シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役  
 渋谷栄一記念財団 理事  
 経済同友会 幹事  
**山内 直人** 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授  
 日本NPO学会会長  
**新宅 正明** 認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本 副理事長  
 株式会社ファーストリテイリング 社外取締役  
 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ アドバイザリーボードメンバー  
 経済同友会 幹事  
**理事** **湯本 優** (代表理事)  
**佐藤 大吾** (業務執行理事)  
**小澤 隆生** 小澤総合研究所所長  
 楽天株式会社 顧問  
 公益社団法人 シヴィックフォース 理事  
**監事** **中村 賀一** (公認会計士)  
 中村賀一公認会計士・税理士事務所 所長  
 東北楽天ゴールデンイーグルス 顧問  
 NPO法人ドットジェイピー 顧問

# Just Giving Japan™

—— あなたの発のチャリティ・プロジェクト。 ——